

Narashino International Association



NIA SQUARE ニアスクエア

Quarterly News

第77号

2007年3月1日
習志野市国際交流協会

- Special Report SPAIN 冬部会の活動報告(概要)
Report 歯と健康の支援センター・ネパール
Column SWEETHOME ALABAMA Who's who こんにちは・コンニチハ
Report Challenge ザ・英文クロスワードパズル・俳句
Report 楽しいイベント



SPAIN : Cultural Mosaic スペイン 多彩な文化に色どられた国

アントニオ・デュケ・ララ
Antonio Duque Lara

チック・コリア&リターン・トゥ・フォーエヴァーの名曲「Spain」(アルバム「Light As A Feather」収録)。モチーフとなった「アランフェス協奏曲」は、スペインの作曲家ホアキン・ロドリーゴの作曲したクラシック・ギターの名曲で、古都アランフェスがスペインの内戦で大きな被害を受けたために作曲したと言われています。同じ内戦の折にパブロ・ピカソは、大きな被害を受けたバスク地方の古都「ゲルニカ」を描きました。どちらの作品も平和への願いが込められている点は同じです。現在のスペインは、日本と同じ立憲君主国で、17の自治州で構成され、スペイン領土には地中海にあるバレアレス諸島、大西洋に浮かぶカナリア諸島、北アフリカのセウタとメリア両都市及び島及び小島が含まれる。人口は4億5000万人ほど。首都マドリッドは、EU内では、ロンドン、ベルリンに次ぐ大都市です。2005年に史上最年少でF1チャンピオンを獲得した「フェルナンド・アロンソ」の出身国としても知られています。



The image a Japanese has of Spain is usually based on the rural and urban landscapes of Andalucia, namely white towns, olive trees, beaches, the sun and the Alhambra of Granada.

But Spain is more than just Andalucia. Spain is divided into 17 regions or autonomous communities that, as in every family and its members, have a common set of features within its rich divergence.

There are the Castilla Plains which are quite warm in summer and very

cold in winter. There are also several mountain ranges including the Pyrenees, Picos de Europa, the Sierra Nevada and the Macizo Central; where, in winter, heavy snowfalls cover the landscape, and people can enjoy winter sports. Sometimes the snowfalls are so intense that whole towns are left isolated.

The warm Andalucia, in summer, represents the stereotypical image of Spain, but some winters are very cold, with cities covered in snow.

The Mediterranean coast, the Balearic Islands and the Canary Island are usually warm and without dramatic changes in climate, but it is not unusual to see snow in Barcelona in winter. There are several other weather conditions that do not fit the typical image of Spain.

The climatic diversity results in a vast variety of products, related to cattle industry, poultry, fisheries and agriculture.

The food and recipes too vary according to the region; in the central part of the country dishes are mainly based on grilled meat. Other cities and parts of the country have special products they are famous for; Galicia is well known for its excellent prawns and shrimps, Andalucia for its fried fish, Murcia and Valencia have tasty vegetables and fruits. Guijuelo, Pozoblanco, Jabugo, Teruel and Catalonia are famous for their ham and pork products. Finally, the most renowned Spanish dish is the Valencian paella, with dozens of variants according to region and cook.



バレニアのパエリア



コロンブスの碑（バルセロナ）

Iberian Peninsula. This variety also stems from the large number of immigrants from around the world, creating a unique cultural mosaic that comprises the contemporary Spanish population.

Seneca, a Cordovan philosopher and educator and Columela, a scientist from Cadiz, were both born during the time of the Roman Empire. Averroes was a Spanish-born Arab physician, philosopher and writer. Maimonides was a Spanish-born Jewish doctor, teacher and scientist. Miguel Servet, a Christian physician who was executed in Switzerland for his heretical ideas, discovered the blood circulation among other things. These are just a few Hispanic intellectuals engraved for eternity in the collective memory of the Spanish people.

Among the kings and governors who stood out in Spain were Abderrahman III, Alfonso IV, Alfonso X, (aka el Sabio, the sage) and Carlos III.



プラド美術館（マドリッド）

HISTORY AND CULTURE

Analyzing Spain's history, one cannot help realizing the variety of people and cultures that have mixed in the

Spain produced world famous painters during the Golden Age; Velasquez was one of the most significant. There were writers like Garcia, San Juan de la Cruz, Gongora, Quevedo, Cervantes, Moratin and Larra who together took the Spanish language to unprecedented heights. In the twentieth century poets like Juan Ramon Jimenez (Nobel Prize in literature in 1956), Lorca, Cela, Juan Goytislo and his brothers and Cernuda were not only public figures but also the most representative writers of modern Spain.



シベレス公園（マドリッド）

Six Spaniards have been awarded the Nobel Prize in literature, the most recent was given to Camilo Jose Cela for his work "Gallego universal" (Universal Galician). In the field of medicine, Santiago Ramon y Cajal and Severo Ochoa received the prize for their contributions and research in the area of genetics and the study of the DNA.



セビリアの春祭り（セビリア）

The twentieth century was dominated by artists, painters and movie directors, among them Picasso, Miro, Dali and Luis Bunuel. Spain is known for its rich musical tradition, and in this context flamenco is perhaps the most



柔和なマドリッドの一般市民

important. There is Galician Muneriras, bagpipe music and dances. There are Basque sword dances, featuring the characteristic snare drum. And there are Navarrian and Aragones jotas and Catalan sardanas.

CONCLUSION

Reducing the cultural variety and wealth of a country like Spain - always ranking first or second in regard to the number of registered monuments and World Heritage Sites - is a terrible mistake. We have to consider the fact that all aspects disregarding essential parameters of a famous brand such as Spain are of no value. An unforgiving mistake.

ひとむかし
一昔前のスペインの印象といえば、ドン・キホーテに
こうだい　へいや　すいしゃ
出てくる広大な平野に水車が回っているのどかな風景で
かんこうさんぎょう　はってん
ではないでしょうか。今では観光産業が発展して、至るところ
きはく
で都市化が進んでいます。そのせいか、昔あった近所
せかいいさん　たよう
付き合いが希薄になってきたように思います。スペインには、世界遺産や多様な文化以外にもまだまだ素晴らしい
せば
自然がたくさんあります。知って見て初めてその良さを
ぶんがく　てつがく　ちり　れきし　かんこう
知る文学、哲学、地理、歴史。観光のみに取られ
ぜひ
ず、是非、スペインを訪れた時には人々と交流をしてみて下さい。きっと温かい人々との出会いが待っていることでしょう。

(スペイン政府観光局日本語オフィシャルサイト=
<http://www.spaintour.com/jp>)



ゲルニカ（ピカソの作品）

ネパールといえば、直ぐに浮かぶのが世界最高峰のエベレストはじめ白雪をいただいた連邦が延々と続く光景です。私も初めてネパールを訪れ、カトマンドゥからボカラにセスナ機で飛んだとき、延々と続く白雪をいただいた峰々を目にし、その光景の素晴らしさに圧倒され、無我夢中でシャッターを切り、ビデオカメラを回しました。

ネパールは、世界の屋根ヒマラヤ大山岳地帯のほぼ真中に位置する小さな国です。面積は日本の3分の1で、北は中国、南はインドに国境を接した内陸の国です。日本からは直線距離で5,250km、直行便で約10時間です。人口は2,321万人、宗教はヒンドゥー教、主要産業は農業、カーペット、観光あります。インドと同じくカースト制度の国で、社会的な差別や貧困の差が大きいために学校に行けない子供もまだまだ沢山います。2001年の国勢調査で識字率は53.7%です。

ネパールとの出会いは、平成14年8月にNPO・歯と健康の支援センターを設立したときに始まります。ネパール・ボカラに在住している現地の人と結婚していた田村舞さんと知り合うことができ、田村さんらが設立したカシキ地区ヤンジャコット村のエス・シー・メディカルと近くのカシキ地区ディタールにあるシリー・ブメスワル・ロアー・セカンダリー・スクール（8年生）に支援を開始しました。

ネパールへの支援

診療所への支援は歯ブラシ、包帯等の医療材料や医療用品（血圧計）及び生活用品を、学校には文具品等を10回ほど送ってきました。日本の製品は、ネパールの物に比べてどれも品質が良く現地でとても喜ばれています。毎回送るタオルは、村人の生活の中で有効に使われおり、大変に喜ばれている品物の一つです。学校整備の充実を考えて支援金を送り、現地を訪問した折りに寄付をしてきました。

メディカルと学校訪問

平成15年11月初めに一週間、翌年10月下旬に一週間、ネパール・ボカラに滞在しメディカルと学校を訪問しました。当時治安状況は、危険地域になっていましたが、現地と連絡を取ると大丈夫とのことであり、実際訪問してみると、軍人が空港や街のあちこちに立っており、街の出入りにも検問はあるものの特に厳しい環境ではありませんでした。ボカラ空港に降り立ったとき、ヒマラヤ

がようこそと迎えてくれました。

現地にはボカラから自動車で山道を1時間程かかります。平成15年には新しくできた山道を行くことになりました。山道は舗装もされてなく、自動車に乗っているだけで道が悪いのでジェッコースター乗っているようです。途中でタイヤがぬかるみにはまり、何回も降りて全員で車を押して発進することが何度もあり、往路だけでも4時間ほどかかり、着いたときは、やっと来たという感じでした。爽やかな風を身に受け壮大な山を見ながらのメディカルの屋上で食べたニギリ飯はとても美味しいかったです。



メディカルは2階建てで、医師はいなくCommunity Medical Assistantが常駐して、村人や近隣の人への医療相談とケアをしています。医者でないので手術は出来ませんが、簡単な手当をしています。薬等はボカラから購入して運んできます。お産も自分の家で行います。家中を見せていただきましたが、土間にベットがおいてあり、そこでお産をすることでした。生後3週間の赤ん坊を見せていただきましたが、母子ともに健康であり、自然の中にある人々の生命力の逞しさを感じました。メディカルはじめ村々の家に水牛を飼っており、ミルクを取り、ヨーグルトを作り蛋白源にしております。また牛はヒンドゥー教では神様であり、街の至る所におり、昼間はあちこちの草を食べ布拉しておらず、牛がいると車はゆっくり避けるように走ります。牛と交通事故を起こすと大変なことになります。

学校に日本人が訪ねてくるのは、ほとんどありませんので学校をあげての歓迎であります。



シリー・ブメスワル・ロアー・セカンダリー・スクールは、平成16年から幼児部のクラスもできて、年々生徒が増えていますが、設備はまだまだです。学校には電気も来ておらず、新しく建てられた幼児部はコンクリートですが、他の教室は木造の煉瓦作りであり、1階と2階とは一枚の厚い板で仕切られているだけで、天井もありません。2階の教員室に上がったときに、大丈夫かなと心配をしたほどです。しかし、生徒の向上心は高く、将来何になりたいについても明確な目標を持っていることに心が動かされました。年間の授業料は1万円かかりますので、これを出せないと学校に来られません。授業料が出せなくなり、学校に来られなくなる生徒もいます。1万円というと安いように思いますが、例えばサラリーマンの4人家族の生活費は1ヶ月1万円です。これは良い方で農業、自営業が中心のネパールではかなりの金額です。ちなみにタクシー運転手の1ヶ月の給料は3,000ルピー（約5,000円）、一般サラリーマンは3,000ルピーから15,000ルピー、工場労働者は3,000ルピーくらいです。

ネパールも9. 11のテロ以来観光客が激減し観光産業も低迷し、今は民主化に向けて動いていますが、反政府活動への対策もあり、教育まで十分に対応できていません。地方の学校は、教育環境への整備もままならず、書庫一つ購入するにも大変な状況であります。

カースト制度

ネパールの国教は、ヒンドゥー教であり、カースト制度が強く指摘されます。カーストは身分や職業を規定します。カーストは親から受け継がれるだけで、生まれたあとにカーストを変えることはできません。結婚も同じカースト間で行われることが多く、多様な人種の中でも未だに入種の違いがはっきりと現われているのは、カーストが混血を妨げているからです。

他宗教に対して寛容なヒンドゥー教ですが、カーストに対しては寛容ではありません。他宗教はその現実的な影響力や力によりその扱われる位置がきまります。ヒンドゥー教とカーストの結び付きが強いためネパールの社会への影響は未だに強力です。

実際低いカーストは高いカーストと話すことも食事することすらありません。これは職業観にも及び、陶器を作る職業は、低いカーストの人種が作るので、日本のように陶器の美術品を作ることはできないそうです。また低いカーストが作る食事を高いカーストは食べません。もし食べるようなことがあれば同じカーストが何故食べるのかと注文をつけます。



火葬

ガンジス川の支流バグマティ川の川岸にヒンドゥー教のパシュパティナート寺院があります。そこは一つの観光地になっております。ここでもカーストの身分により火葬される場所が違います。丸太の木を組んで藁と一緒に遺体を火葬にします。現世でカーストにより身分が縛られても、灰になり聖なるガンジス川に流され、次に生まれ変わり良い結果をもたらすとされます。火葬にされ灰になると遺族の代表者がお別れをして、遺骨は全部聖なる川に流され火葬は終わります。親族は2週間ほど喪に服し、1年間お祝いの席に出たりせず、白い服を着るそうです。

アラバマ州のテーマソングとも言えるこの曲は、レイナード・スキナード（LYNYRD SKYNYRD）が発表した2枚目のアルバム「Second Helping」（1974）に収録されている。そこには、アラバマに対する郷土愛が歌い上げられている。

ところでこの曲は、ニール・ヤング（NEIL YOUNG）のアルバム「After The Gold Rush」（1970）に収められた「Southern Man」という曲のアンサー・ソングとして作られた曲なのだ。

カナダ生まれで、ネイティブ・アメリカンの血を引くニール・ヤングは「Southern Man」において、米国南部人の保守性を皮肉っぽく歌った。その内容に対するメッセージが込められた曲が「SWEET HOME ALABAMA」という訳なのだ。実際に歌詞にはニール・ヤングが実名で登場している。

たしかに、1963年にタスカルーサにある「アラバマ大学」に初めてアフリカ系アメリカ人二人が入学を許されたとき、時の州知事であるジョージ・ウォレス（George Wallace）が校門の前に立ちはだかり、阻止しようとした。結果的にケネディ大統領の要請でやって来た州兵に降伏するのだが、その時の模様は映画「フォレストガンプ（Forrest Gump）」にも登場している。この映画が描こうとした「アメリカ激動の時代」である1960年代から80年代を映し出すためには、アラバマは欠かすことのできない舞台だったとも言えるのだ。

ところでレイナード・スキナードは、じつはアラバマ出身ではない。フロリダ州ジャクソンビル（Jacksonville）で結成されたが、アラバマ州フローレンス（Florence）にあるマッスル・ショールズ（Muscle Shoals）のスタジオ・ミュージシャンであるジミー・ジョンソン（Jimmy Johnson）に見出されたことがきっかけでメジャー・デビューを果たしたのだ。「SWEET HOME ALABAMA」は、ほんとうはマッスル・ショールズに敬意を表して作られた曲だとも言われている。彼らのデビュー前の音源を集めたアルバム「Skynyrd's First - Complete Muscle Shoals Album」（1998）のジャケット裏面には、かつてローリング・ストーンズ（The Rolling Stones）やロッド・スチュワート（Rod Stewart）といった世界中のミュージシャンの憧れを集め、アメリカ南部音楽の聖地とされている「3614 Jackson Highway」と名付けられたスタジオの写真が残されている。

このマッスル・ショールズ・サウンド・スタジオそのものは、現在は近くの場所に移転し、「3614 Jackson Highway」はいわば記念館のような形で保存されている。

2001年にマッスル・ショールズ・サウンド・スタジオを訪ねたとき、意気投合したギタリストのウィル・マクファーレン（Will McFarlane）はこんな話をしてくれた。

「ぼくはカリフォルニアに住んでいて、ツアーで世界中を回ったんだ。日本にもボニー・レイト（Bonnie Raitt）のバックバンドに参加して行ったよ。でももう忙しい毎日に飽き飽きしたのさ。それでここ（マッスル・ショールズ）に移ってきたんだ」

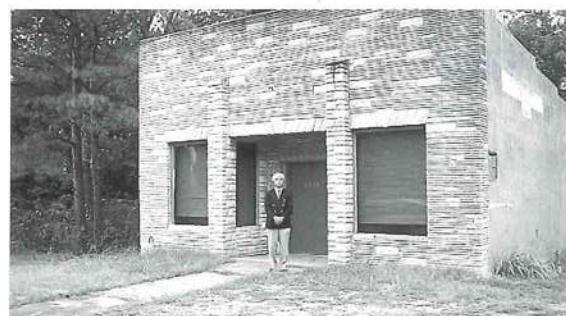
レイド・バック（laid-back）という言葉がある。かつてイギリスからアメリカに渡った頃のエリック・クラプトンが口にして有名になった言葉だ。アメリカ南部のゆったりした空気の中で、心ゆくまで音楽に浸りたいといった意味だが、静かな町はずれの水辺に佇む現在の「マッスル・ショールズ・サウンド・スタジオ」は、まさにそんな雰囲気の似合うスタジオだ。

「ここではウチの息子は木登りができるんだ。カリオルニアでそんなことをしたら、犯罪者に間違われて撃たれちゃうけどね」

このウィルの言葉が忘れられない。
かつて人種差別をめぐる激しい抗争の舞台となったアラバマは、今や全米でも屈指の安全で、静かなくつろげる環境を手に入れている。

そういえば、マッスル・ショールズのスタジオから生まれた初めてのヒット曲は、パーシー・スレッジ（Percy Sledge）の歌った「男が女を愛するとき（When A Man Loves A Woman）」（1966）だった。アラバマは、激動の時代を経て、この曲が似合う場所になったのだと思う。

フローレンスにはこのマッスル・ショールズ・サウンド・スタジオやアラバマゆかりのミュージシャンを集めた「The Alabama Music Hall Of Fame」、ブルースの父と言われるW.C.ハンディ（W.C. Handy）や奇跡の人、ヘレン・ケラー（Helen Adams Keller）の生家などもある。
機会があったらぜひ訪ねてみて欲しい。



「3614 Jackson Highway」の跡
今はレストアされ、記念館になっている

クリスマスパーティー

青少年交流部会副部会長

高橋順子

青少年部会では、12月9日（土）に恒例のクリスマスパーティーを開催しました。家族で参加された方もあり、24名のにぎやかな会になりました。自己紹介を兼ねたICE BREAKINNGで仲良くなつたところでグループに分かれてゲームをしました。イントロクイズや伝言ゲームをして、チームで点数を競いました。

伝言ゲームでは、背中に絵を描いたり、ジェスチャーで伝えたり、最後まで正しく伝えられるように皆一生懸命がんばっていました。それでもなかなか正確に伝わらず、皆で必死に伝え方を考えていました。チームで一丸となって行ったゲームは笑いの絶えない楽しい時間になりました。



楽しいゲームのひととき

ぺったん ぺったん ぺったんこ！ 楽しかった新年もちつき大会

交流部会長 長安信明

もちつきは面白い。みんなで食べるもまた楽しい。

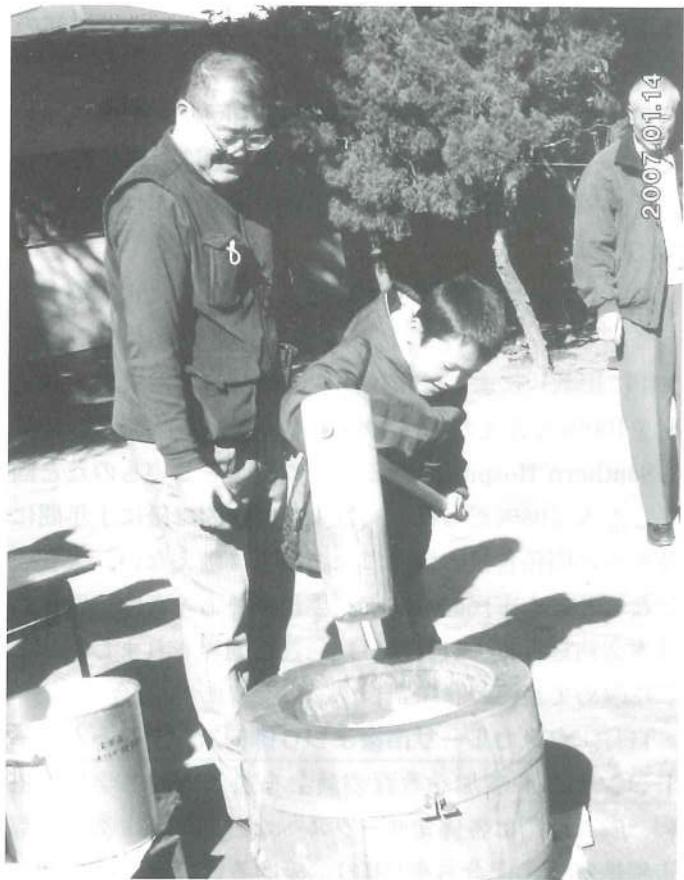
新春の1月14日（日）午前11時から、菊田公民館をお借りして、恒例のもちつき大会を実施しました。参加者は、山田会長さんをはじめ、老若男女61名。子ども達もたくさん来てくれました。

今年は風も無く穏やかな天気に恵まれ、絶好のもちつき日和でした。「こいつは春から縁起がいいや！」

用意したもち米は12キログラム。前日の夕方のうちに事務局の植田さんと中野さんが準備万端整えておいてくれました。今年もまた、谷津ローズフォーラムの三代川久枝さんをはじめ中村光子さん・岩崎恵子さん・藤井千代子さん・大鍔貞子さんたちも応援にかけつけてくれました。さすがに作業の手さばきは見事です。

もち米も炊き上がり、白に移して、いよいよもちつきの始まりです。最初は、杵でこねるようにして粒を小さくしていきます。粒が見えなくなり、程よく餅特有の粘りが出てきたところで、本格的につき始めます。つづいては若松さん・日本語学習部会の松井さん・小島さん・まちづくり推進課の南山さん・佐々木事務局長が見本を示し、今井姉妹都市部会長・まちづくり推進課の藤代さんが巧みにこねます。見よう見まねで会員のみなさんや子ども達が一生懸命つきました。ハイ、できあがり！ 子

どもたちにとっては、大きく重い杵でしたが、全身を懸命に使ってしっかりつくことができました。「なすことによって学ぶ」といいますが、やはり実際に体験してみることは大切ですね。楽しいひとときでした。



うわあっ、くっついちゃった！

Report / NIA 各部会の今年度の活動報告（概要）

部会長さんを中心にして、多くの会員の皆様のご協力により今年度も有意義な幅広い活動を展開してきました。会員相互の交流・親睦はもちろん姉妹都市タスカルーサ市とのフレンドシップも深めることができました。来年度も是非多くの方々にご支援いただき、積極的な国際交流活動を展開していきたいと考えています。ご協力よろしくお願ひいたします。

<姉妹都市交流部会>

姉妹都市交流に新たな1ページ！ **今井洋子**

2006年度（平成18年）は姉妹都市提携20周年を迎えた。

6月タスカルーサ市青少年団、生徒12名引率者2名

受入 期間：6月8日から19日（SQUARE 75号に掲載）

習志野市役所総務部まちつくり推進課とともに青少年団達が、有意義、安全且つ快適に滞在中を過ごしていただくことを目的として協力をした。

今回の大きな成果としては帰国日に引率者2名と共に初めてEvaluation Meetingを行ったことである。今後の青少年交流がより有意義なものになるよう忌憚なく話し合いを行った。

7月タスカルーサ市、アラバマ大学主催桜まつり俳句

コンテスト 本年度の受賞者12名（受賞者は当協会のHPに掲載）

9月タスカルーサ市姉妹都市委員会主催アート・コン

テスト 習志野高校の若林沙織さんが優勝、更に国際姉妹都市委員会主催のYoung Artists Showcaseで優勝のかいきよ快挙。

10月姉妹都市提携20周年記念訪問団（SQUARE76号掲載） 参加人数：公式訪問団8名（団長、習志野市長荒木勇様）市民訪問団56名 期間：平成18年10月18日から25日

タスカルーサ市滞在中は歓迎会、晩餐会、式典等があつて忙しかったにも拘わらず参加者のアンケート回答（HPに掲載）によれば市民訪問団員としての成果・満足度を100%と答えた人が89%を占めている。又どの行事もSouthern Hospitalityのこもった素晴らしいものだと回答した人は98%だった。実行までの期間は優に1年間に及んだが関係各位の協力に感謝の念に堪えない。大変残念なことに本市民訪問団実行委員長であった鷹栖明様には本業務遂行後、11月20日に急遽ご他界されました。ここに改めて哀悼の念を表し、ご報告します。（合掌）

11月①タスカルーサ市桜まつり俳句コンテストとアートコンテスト 参加を教育委員会を通じ市内各学校に依頼、成人部門は各俳句サークルへなどへ依頼。②姉妹都市提携20周年記念式典[HI1]、於ける習志野への参加と協力

市役所の主催で行われた式典に参加するためにタスカルーサ市から12名の訪問団をNIAはバーベキューパーティーで歓迎し両市民交流を行った。

10月、11月相互訪問交流を通してタスカルーサ市民のSouthern Hospitalityと習志野Hospitalityの素晴らしさを感じた。参加した両市民はこの2つの交流の経験から互いに心の交流ができたという思いに至った。以下はタスカルーサ市民の言葉である。「習志野市との交流は経済交流とは違う心と心の交流です。」「こんなに気持ちよく心のこもった歓迎をうけるのは初めてだ、また是非来たい、来週にでも来たい程だ」と冗談もでた。「今度は大人のためのプログラムをタスカルーサからも送らねば…」と、次なる市民交流の実行を充分予想させる団長のリサ・キーズさんの言葉だった。

<交流部会>

ふれあいは心のオアシス

長安信明

交流部会では、五月の総会終了後定例により会員相互の親睦会を開催しました。54名の会員が参加し、学習者とボランティア講師共に楽しいひと時を過ごしました。

6月には、姉妹都市アメリカ合衆国アラバマ州タスカルーサ市から青少年団（高校生）12名と引率者2名の14名の方々をお迎えして歓迎会を行いました。123名の皆様の参加をいただきました。

当日は、「実花お琴サークル」の皆さんによる歓迎演奏があり、好評でした。

一方、タスカルーサ市姉妹都市委員会のリサ・キースさんから日本語によるスピーチがあり、会場の皆さんから盛大な拍手がありました。

11月には、習志野市・タスカルーサ市姉妹都市提携20周年記念式典に参加されるタスカルーサ市からの市民訪問団12名をお迎えして、習志野市文化ホールで盛大な式典が行われました。市立習志野高校生徒の素晴らしい演奏とパフォーマンスが式典をいやがうえにも引き立ててくれました。

式典の翌日、香澄公園のバーベキュー広場に訪問団の皆様をお招きして、バーベキューパーティーを行いました。強風に悩まされましたが、中村一座の皆さんや民謡

サークル“どんつく”秋津ばかり面おどり愛好会の皆様の歓迎のパフォーマンスや楽しい音楽や踊りを楽しんでいただきました。



踊りの輪の中にはリサさんをはじめ訪問団の方々もお面をつけて参加し、和気藹々の雰囲気の中で笑顔があふれんばかりでした。

新年を迎え、1月には菊田公民館においてもちつき大会を行いました。P.Tをご覧ください。

ついた餅は、黄な粉餅・磯辺焼き・お雑煮などに調理され、みんなでおいしくいただきました。大変楽しい交流ができました。

<日本語学習部会>

日本語の学習のお手伝いを

松尾友一

今年度も習志野市と周辺都市に在住、勤務する外国人や市内に在学中の外国人児童が、日本語を話し私たちと共に楽しく過ごせるよう、ボランティアで日本語学習のお手伝いをしました。教室での学習は、生活に密着した日常会話を中心に読み書き、聞き取りのほか、日本の文化、社会事情もできるだけ盛り込むように努めています。現在外国人学習者は30カ国130名あまりで、ボランティア講師も100名を超えてます。



笑顔の子どもたち
七夕まつり

この部会では、このほか「七夕まつり」をはじめ、ちぎり絵教室、書道教室、いけばな教室などを開催したり、NIAサンバチームの中心になって「習志野きらっと祭り」に参加しました。また学習者と講師間の親睦をはかるため新年茶話会を行い、講師の見識を高めるため講師研修会を開き、それぞれ成果を挙げました。「講師養成講座」を主催した結果、新春以降22名の講師が新しい仲間に加わり、活動を始めています。

3月7日には外国人学習者が、学習した日本語を使って自分のこと、出身国のことなどを発表する「スピーチ茶話会」が予定されています。

<語学研修部会>

草の根の研修・交流をめざして

勝又陽子

昨年度再会した韓国語講座と中国語講座を本年度も開催しました。韓国語は今なお続いている韓流ブームによる学習意欲への対応として、また中国語は2008年開催予定の北京五輪に向けて日常会話から始めようというねらいです。

「広報習志野」や当協会の広報誌「NIAスクウェア」や「RAINBOW」で募集したところ、15名の定員を大幅に上回る応募があり、やむなく抽選をさせていただきました。ご希望に添えなかった方には大変申し訳なく思っております。両講座とも真剣かつ熱心に研修が行われました。来年度もほぼ同じ内容の語学講座を開催する予定ですので、どうぞご応募ください。

また本年度は、「スクウェア」第76号でお知らせしたように、おとのための短期語学研修の実施を目指してその準備を進めてきました。これは協会にとっても初めての取り組みであり、新しい一步を踏み出すことになります。会員の皆様には、アンケートにご協力いただきありがとうございました。この結果を今後の検討に十分生かしていきたいと考えています。

<文化部会>

異文化理解の深まり

志知美智子

文化部会では、各國の文化を理解し、日本の文化を伝えることにより、親善を深めていくことを目的に活動してきました。

主に3つの活動をしています。

「世界の料理教室」では、当市に住み、毎日家族のために料理を作っている主婦が講師を務めてくださいます。本年度はロシア、日本、韓国（3月実施）の料理を楽しみました。講師の流暢な日本語での説明、英語での質問等、まさに文化の交流が行われました。

文化セミナーは、2回実施しました。1回目は、日本の琴の演奏を鑑賞しました。その後、琴の体験演奏をさせていただき、外国の方たちにとって楽しい経験だったようです。2回目は「知っておきたい日本の正しい立ち居振る舞い、礼儀作法」などについて講演をしていただきました。普通ですと、女性だけの講座になりますが、今回は6名の男性が参加し、実際に体験して、充実した研修になりました。

後援会では、異文化に対して



深い知識と理解をお持ちの方を講師にお招きし、お話をしていただいています。本年度は3月17日(土)に実施する予定です。詳細は「レインボー」でお知らせします。

皆様のご参加と、楽しく有意義な交流のためのアイデアの提供をお待ちしています。

＜通訳・ホームステイ部会＞

連帯から生まれる楽しいボランティア活動 石川澄郎

部会運営で本年度大事にしてきたことは、ひとつは、部会の会員が「情報を共有」すること。ふたつめは、互いに啓発することで「喜びと楽しさ」が味わえる部会にすることでした。



山田会長からホストファミリーの方々に感謝状の贈呈

のために、年3回の定例部会を提供するとともに、部としての具体的な対応を考えました。この中でお互いに啓発されたり、連帯意識が高まったと考えています。

6月8日から19日までの12日間、タスカルーサ市から14人の青少年訪問団が来習。ホームステイの受け入れ、そして通訳の仕事と部をあげて力を注ぎました。

登録のホームステイボランティアと通訳ボランティアの方々のご協力で、青少年訪問団に対して安全で快適な生活が送れるよう万全の体制で臨みました。無事に役目を果たせたと考えております。

さらに11月には、習志野市・タスカルーサ市姉妹都市提携20周年記念式典に参加されるタスカルーサ市からの12人の市民訪問団をお迎えし、ホームステイ・歓迎バーベキューパーティーでの通訳を努めました。

今後も部会の皆様、会員の皆様との連携を深めながら、協会の一層の充実発展に寄与できる活動を進めていきたいと考えております。

＜青少年部会＞

好評！ 新作「こんにちはカルタ会」 大野智弘

青少年部会では、昨年度に引き続き定例会を月2回開催し活動の充実をめざしてきました。

新しい取り組みとしては、ひとつは、8月9日に「長崎平和の日」にちなんで新習志野公民館で行われた「長崎原爆記念式典」に参加しました。人間の尊厳、和平の大切さをひしひしと感じました。

ひとつは、「こんにちはカルタ会」というユニークなイベントを開催したことです。これは、私たちが日常使

っている「こんにちは」という挨拶を世界の国々ではどのように言うのか、文献で調べたり、直接大使館



長崎原爆記念式典

に行って聞いて調べたりしてカルタを作りました。このカルタを使って、平成19年2月24日(土)に“こんにちはカルタ会”を開催しました。珍しいカルタなので楽しく遊んでもらうことができ満足感を味わいました。

他の主な活動としては、スクウェア第76号に掲載されました。10月14日に実施した下町散策ウォーキング、12月9日の「クリスマス会」などの楽しいイベントに取り組んできました。青少年部会は若さいっぱいの仲良し部会ですので、若いみなさんの加入を楽しみにお待ちしています。

＜広報部会＞

平和と自由への願いを込めて

沼澤佳子

広報部会では、今年度の4回の特集記事を通して平和と自由をアピールしたいと考えました。

第1回74号ドイツでは、サッカーのワールドカップドイツ大会で、ベルリンの壁が崩壊し再統一されたベルリンで決勝戦が行われました。

第2回75号アルゼンチンでは、イタリア・ドイツ・フランス・日本・その他の国から居住した人々が自由を求めて模索しながら独自の国を築きあげました。今では文化(タンゴ)を通してわが国と国際交流を図っています。

第3回76号ケニアでは、来年(2008年)、北京(中国)でオリンピックが開催されることもあり、陸上競技などで数々のメダルを獲得しているアフリカに焦点をあて、アフリカを身近に感じてもらえたたらと思いました。

第4回77号では、情熱の国スペインを取り上げました。日本人がスペインを訪れ、フラメンコを鑑賞することは世界の他のどの国よりも多く、国内では文化センターなどでフラメンコを習う人が近年非常に多くなってきています。世界遺産も多いことから、スペインを特集して欲しいという声が数多く寄せられていました。

そこで広報部では、今年度はこれらの国々を特集することで世界の平和と自由を願い、世界の人々と協調し仲良くしていくために、できるだけ正確に現状をお伝えするとともに、細かな取材と活発な議論を通じた会議を重ねてまいりました。会員の皆様のご期待にお応えいたいと考えております。最後に皆様の温かい数々のコメントに感謝します。

会員紹介／こんにちは、コ・ン・ニ・チ・ハ／みなさん、どうぞよろしく！

Greetings!

ジェームス ウィンワード スチュワート
James Winward Stuart (イギリス出身)



My name is James Winward Stuart. My wife (Katherine) and I have both been taking lessons at NIA for the past few months. We plan to stay in Japan for several years, so it is important that we learn good Japanese... therefore I must study harder! So far we are really enjoying living in Japan, although the summer was very hot and humid! We attended a number of firework displays, and on the way home from one adopted a stray kitten as a pet—his name is Train; he is very loveable! Both my wife & I greatly enjoy attending lessons and other events at NIA. My teacher, Shinozaki—sensei, is an excellent teacher!

So then, to everyone enjoy winter...studying!

こんにちは！ 私の名前はジェームス・ウィンワード・スチュワートです。私と妻のキャサリンは習志野市国際交流協会で6ヶ月前から日本語の勉強をしています。私達は日本に何年間か滞在する計画なので、上手な日本語を学ぶことがとても大切だと思っています。ですから私は一生懸命日本語を勉強しています。

日本に住んでますます日本が好きになっているものの、でも日本の夏は本当にじめじめと暑かったです。夏に私達は3回ほど花火大会に行きました。その帰り道で捨てられた子猫を見つけましたが、あまりにかわいかったので連れて帰りトレインと名付け今では私達のペットになっています。

私と私の妻はNIAのレッスンとイベントが大好きです。私の先生の篠崎先生はすばらしいです。

それでは皆さま、どうぞ冬の季節も勉強も楽しんでください。

じびき のぶこ
字引 喜子



日本語ボランティアの講師になって、1年3ヶ月になります。私にとって、このボランティアは趣味であり、仕事であり、勉強です。

私のパートナーは、フィリピンの女性で、日本人のご主人とお子さんが2人います。私の目標は、彼女がお子さんの成長に負けずにしゃべれるよう、また、ひらがなだけでなく、漢字も読めるようにすること、と決めました。彼女の環境を考えながら、季節の移り変わり、日本の伝統的な行事、テキストの他にも教えたいことは、次から次へと出てきます。時には、私の娘にも手伝ってもらしながら、独自の教材を楽しく作っています。

二人で勉強していく中で、日本について教えるということは、相手の国についても知ることであり、お互いの文化を尊重したいという思いも出てきました。授業の度に、日本語しか話せない私は、文化の交流を感じ、改めて、日本ってどんな国？と見つめる機会を与えてくれます。だから、忙しくても、頭が痛くても、準備不足だな、と感じている時でさえ、彼女に会うのを楽しみに、いそいそと走っていきます。また、NIAでできた友だちと思わぬところで会い、あなたそんなことするの？そんなこともできるの？など、いろんな人がいることもあります。

おおかわら
大河原ピンマニー



はじめまして、わたしは大河原ピンマニーです。井野小学校の4年生です。タイから2005年7月9日に日本にきました。今日は、私の国と私のことをしょうかいします。

タイから日本に来るには6時間くらいかかります。タイには、約80県があります。タイは気温が高いです。冬雪が降りません。朝は寒いけど、昼になったらどんどんあつくなります。

プーケットは、タイで一番きれいな海です。でも2005年につなみがおきました。たいへんだったです。

タイの人は、虫を食べています。でもわたしは虫がきらいです。タイは食べ物や果物が多いです。だから安いです。タイで人気のある食べ物は、トムヤムクンです。でも私が好きな食べ物は、日本語ではえびチャーハンです。朝8時になると、どこでもタイの国の歌が始まります。

〈わたしのこと〉私は日本の勉強をしています。もう1年たちました。今は漢字と算数をやっています。学校では、ほとんど毎日友だちとあそんでいます。だから、日本のことなどだんだんわかってきました。これからもずっと勉強したいです。これからもよろしくおねがいします。

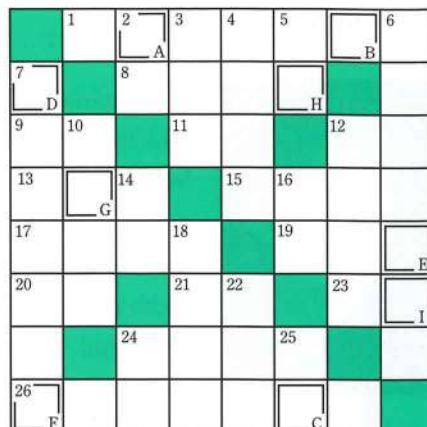
Letsチャレンジ／ザ・英文クロスワードパズルNo.77/プレゼント付！

〈Across〉

- A Peninsula in SW Europe, comprising Spain and Portugal.
- Promptly or quickly
- For example
- New Style
- Circuit Court
- Bow(the head) slightly and quickly as a sign of agreement or as a familiar greeting.
- A British Nobleman of a rank below a Marquis and above a Viscount,
- Tell, ---, ---,
- One of the terminal digits of the foot.
- Rural Delivery
- Enlisted man or men
- Private Account
- Gas forming a very small proportion of the atmosphere, used in lamps for some electric signs.
- Large flesh-eating animal with yellowish coat and dark spots.

〈Down〉

- Bachelor of Science
- A division of geologic time comprising two or more eras.
- Sweet-smelling flower growing on a bush with thorny stems.
- He lives --- Tokyo.
- Of or involving atomic weapons.
- Of or forming the center.
- , better, best,
- The cultivated produce of the ground.
- Deputy Lieutenant
- He get up --- ten o'clock.
- Going far down from the surface or top.
- One kind of a bird like-as an ostrich in New Zealand.
- Opposite of Yes.
- North Riding



〈出題者〉御園生 馨 (編集部)

〈応募要項〉

クロスを解いたあと、A～Iの文字をつなげてできたことばが正解です。

解答と住所、氏名、年齢、職業、電話番号、本誌の感想等を書いて送って下さい。解答は、ハガキ、FAX、Eメールで4月末日までにお送り下さい。

正解者の中から抽選で5名の方に、図書券をプレゼントします。

「N.I.A.スクウェア」編集部まで。

たくさんのご応募お待ちしています。

読者広場

○N.K.さん(大久保・主婦)

毎回何気なく、めくる程度でしたが、子どもからクロスワードを解いてみればといわれ、久しぶりに英語の辞書を引きました。日本語のクロスワードとは違い、訳が違えば全く答えに結びつかないのでかなり頭を使ったような気がします。

今度は、子どもと一緒に考えながら挑戦したいです。

○小林信子さん(大久保・主婦)

大昔に受験勉強で頭に詰め込んだ英語を実際に使うチャンスは全くありませんが、NIAスクウェアで身近な所で生きている英語を楽しませてもらっています。

最近、ナイロビの蜂というDVDを見ましたが、自然と文明が同居している不思議な世界がありました。今春、息子の受験が済めばあちこち海外旅行をして、おぼつかない英語を試そうと思っています。

○I.S.さん(藤崎・主婦)

前回のパズルで主人が当選し、読者の広場でも感想が名前入りで紹介されました。藤崎

小から冊子をもらってきた娘が大喜びで帰ってきて、主人の名前のところに赤マルをつけて、夜帰宅した主人に見せていました。主人もまんざらではない様子で目を細めてにんまりとしていました。

今は母親の私がLet'sチャレンジです。

○Y.M.さん(袖ヶ浦・主婦)

6月にタスカルーサ市からの高校生を2週間お預かりし、7月に長男が語学研修派遣団の一員として参加させて頂き、草の根の国際交流の楽しさを改めて実感しました。今まで子供達がスクウェアを学校からもらってきてもさっと目を通すだけでしたが、これからはじっくり読んで楽しむことにしました。

○三代川隆也さん(谷津・高校生)

毎回様々な国の歴史や文化について知ることができ、とても参考になります。アフリカについての学習をちょうど地理の授業で行つたばかりだったので、理解が深まり、また、授業では扱わなかったようなこと等も記事になっていたため、大変興味深く読ませていただきました。

俳句

春
はる
大試験
だいしきん
一般にはあまり使われぬ言葉ではあるが、春先の入学試験、進級試験、卒業試験は大試験という言葉によっていちばんよく、その心持があらわされる。受験。

編集後記

*先日バルセロナから帰国した知人が近況を伝えてくれました。物価が高騰し、住宅事情も厳しく、一般的な家庭ではマンションを購入した場合、夫婦共稼ぎで返済するのがやっとで、一人の給料だけでは難しいと言っていました。また、EU加盟国も増え、様々な民族が出入りしていて、以前より物騒になった感がしたとも。世界の国々がバリアフリーになっても、それによつて新しい問題が増えているのも確かです。私たちは、このような問題についても常によりよい共生のあり方を求めて努力していくことが大切だと考えます。(K.N.)

*NGOやNPOによる海外での専門的知識や技術を生かした活動が盛んだ。現地の住民のニーズを的確に把握したキメの細かい支援が歓迎されている。NPOが行ったネパールに対する医療、学校に対する支援は、その典型的なケースである。政府を超えた民間レベルでの交流が、地球市民という新しい意識の形成につながることを期待したい。(T.K.)

〈お詫びと訂正〉

スクウェアの掲載内容に誤りがありました。失礼をおわびいたします。次のように訂正をお願いします。

①第76号の7ページの右(三中 本条和樹さん→四中)(四中 久万絢子さん→五中)(七中 中理合紗子→六中)(習高 伊藤仁美さん→七中)

②第75号の3ページの右下の海辺に開けた街の写真はアルゼンチンのものではありませんので削除してください。

前回の解答

〈解答〉 NAIROBI

B	O	A	T		F	A	C
B		B	E	D		N	U
C	S		A	D	L	I	B
	A	I	M		A	M	A
A	F	N		I	P	A	
N	A	K	E	D		L	P
A	R		M	E	N		T
L	I	D		A	R	E	A

〈当選者〉

栗崎 紀子さん 小林 信子さん

佐藤いずみさん 三浦 幸枝さん

三代川隆也さん

☆正解者は15名でした。

N.I.A.スクウェア・第77号

発行2007年3月1日/発行責任者・山田大三

編集・習志野市国際交流協会

編集責任者・沼澤 佳子

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼5-12-12

サンロード4F

TEL/FAX 047-452-2650

<http://www1.seaple.ne.jp/nia>

<Eメール> nia@seaple.ne.jp